

学ぶ姿勢と成長

昨日に引き続き、教育実習生について述べたいと思います。今日は、3人目の査定授業でした。教科は美術です。授業では、色の塗り方を改善しようというテーマで授業をしていました。

前日に急遽内容を変えたため、「思ったような授業ができなかった」と反省していました。しかし、「授業はいくらでも改善できる面白味があると思いました」という前向きな発言が出てきました。

まさしくそのとおりだと思います。授業の方法はいくらでもあります。よりよい授業をめざして常に工夫改善する気持ちを忘れず、教職をめざしてほしいと思います。



ところで、中学校卒業後の追跡調査のイメージで、教育実習が終わった3人にいくつかインタビューしてみました。現在の大学4年生が感じていることを紹介します。

Q1 大学生活で学んだことは？

- ・授業づくりです。模擬授業を何回もしました。
- ・教育実習の一環で、同じ大学の学生相手に授業をしたことが、よい学びになりました。
- ・美術の技能を学びました。反復練習をすることで、やればやるほどうまくなると実感しました。

Q2 いつから教師をめざすようになりましたか？

- ・小学校の時から国語や教えることが好きだったので、なんとなくなりたいて思っていました
- ・大学2年で、中学校の部活動外部コーチになってから、教えることの面白さを感じ始めました。
- ・大学2年で教員免許をとろうと思ってからです。学童保育のアルバイトでも、子どもと接する面白さを感じました。

Q3 中学時代に頑張ったことで、今、役に立っていることは？

- ・部活動に励んだことです。
- ・朝練、夕練に励んだことです。
- ・粘り強く勉強したことです。

Q4 教育実習を終えての感想

- ・授業をして、生徒が反応してくれたことがとても嬉しかったです。事前にたくさん準備をしたかがありました。
- ・「うまくいかないこともある」ということを経験することができました。「今後、どう改善しよう」「どのように適応しよう」という課題と可能性が見えたことがよかったです。
- ・教師の大変さや学校の楽しさを感じました。なによりも、中学校には魅力的な子ども

達がいて、教えることの喜びを感じました。

Q5 中学生にメッセージを！

- ・あきらめずに**努力**をすることが大事です。努力してむくわれないこともあります、努力し続けること。努力を続けることで人は輝きます。私もまだまだ努力します。中学生の皆さんも、ぜひあきらめず努力を続けてください。
- ・**挑戦**し続けましょう。誰でもみんな最初は初心者です。
- ・**逆境**を楽しみましょう。逆境は人を強くします！

今回、教育実習に来た3名は中学校時代に、勉強や部活動、学校行事など、どれも熱心に取り組む生徒でした。しかし特別に目立った生徒やリーダー性が突出した生徒という訳ではありませんでした。ごく普通の生徒です。この生徒達が7年後に教育実習に来て、たくさんのことを学び、成長した姿を見せてくれました。その中で、特に「**学ぶ姿勢**」が素晴らしく、その熱心さに敬意を表します。「**学ぶ**」ということは高い意欲や目的意識をもち、かつ、謙虚な気持ちで指導を聞き入れ、自分のものにしようとする事です。さらに、指導内容を理解し、自分で実際にやってみようとする事です。その場にいるだけ、時を過ごすだけでは、「学んだ」とは言えません。「**教師になりたい**」「**授業を上手にできるようになりたい**」「**授業技術を向上させたい**」など、たくさんの目的意識をもって3週間過ごしました。そしてたくさん学び、たくさん吸収しました。この「**学ぶ姿勢**」は、とても素晴らしいものでした。私ももっと学び続けなければいけない、と思わせてくれるものでした。

太宰府西中学校は、これからも「学び続ける学校」を目指します。

